

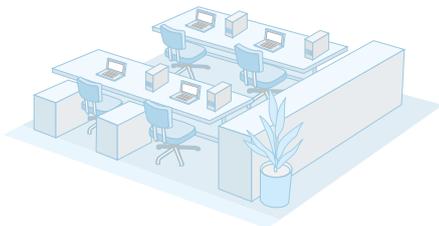


市内経済 発展の ために



◆市民への影響と市の対応は
問 消費税増税法案が可決されたが、今でも中小企業は価格に転嫁できないでいる。輸出大企業は戻し税等優遇があり矛盾は拡大する。低所得者ほど負担が大きく市民生活への影響も大きい。市としての対応は。
 (鈴木)

答 現在も厳しく、消費税増税時点も経済高揚は見込めない。市内中小企業へ短期、中長期の経済、技術支援等を進める。逆進性等増税への対策は先送りとなっているので動向を注視し、必要に応じ市長会等を通じ国に提言していく。



活性化を目指す中心市街地

◆商業の活性化策は
問 しおじり街元気カンパニー今後のあり方は。(中原巳)

答 空き店舗再生、えんぱーく1階のショップへのテナント誘致、古民家再生事業など具体的な計画づくり、権利者との調整、テナントの誘致が本格化している。振興公社と2つの機関があることがわかりづらい、非効率ではないかなど本年3月の中心市街地活性化協議会において統合の方向性が示された。今後事務レベルで、統合の方向で検討を進めていく。

◆除雪体制の維持について
問 市内の建設事業者が廃業するなど、建設業界全体が、厳しい経営環境にある。今後、事業者の負担を軽くする意味でも市で重機等を保有するなどの考えは。
 (金子)

自然エネルギー への転換を

答 自社保有除雪機械の年数アンケートによると15年以上が約5割であり、将来の除雪に強い危機感を持っている。提案は十分検討していきたい。

◆バイオマス発電構想は

問 構想の周知と今後の地域住民への対応は。(青木)

答 本プロジェクトは、産学官の連携により推進するもので、地域住民への周知など、手順を確認しつつ、できる限り迅速な対応をしていく。

問 今後地元地区への課題、問題点の取り組みは。(青木)

答 事業ごとに必要調査や研究を行い、地元と相談する中



バイオマス発電構想予定地



しのめマレットゴルフ場

で問題点など協議し取り組む。
 ◆しのめマレットゴルフ場
問 会員や市民から閉鎖に伴い、代替施設を強く要望されている。今後の取り組みは。
 (青木)

答 代替施設については、協会の知恵を借りながら、今後誠意をもって対応する。

◆林業創生・長野プロジェクト(仮称)の構想は

問 計画案の量的縮小と道路拡幅、焼却灰、調整池、冷却水、マレット場の対応と用地の提供条件は。
 (永井)

答 去る8月、県および事業者から再生可能エネルギーの電力固定価格買取制度を前提に、森林資源を活用した製材や木質バイオマス発電、余熱を利用した農業再生等を構想とする提案を受けた。
 発電量の毎時1万kwの縮小